

# 介護現場革新に向けた取組

## 現状

### 1 介護人材不足

- 『2025年問題』 ⇒ 介護職員【R7推計 ▲1,274人】

### 2 介護現場の業務効率化が進んでいない

- 見守りシステム導入率：**14.0%**
- ノーリフティングケア導入率：**8.9%**
- 介護保険事務に係るICT機器導入率：35.8%

【業務効率化の事例】見守りシステム



## 先進例

### ○特養「四季の郷」(臼杵市)

- ・ノーリフティングケアの活用



- ・入所者状況をタブレットやスマホ、インカムで共有



離職者が減少

### ○特養「Greenガーデン南大分」(大分市)

- ・AI技術を駆使した介護記録の音声入力



- ・移乗支援ロボット



残業時間が減少

## 課題

### 1 機器購入経費の負担が大きい

- ・介護ロボット等の導入コストが高い (57.1%)

### 2 機器導入に係る支援体制が必要

- ・技術的に使いこなせるか心配 (32.2%)
- ・どのような製品があるのかわからない (25.9%)

### 3 導入する上での情報不足

- ・自事業所にマッチする製品がわからない (19.1%)

出典:「令和3年度介護労働実態調査」※複数回答

## 今後の取組

### 1 介護ロボット、ICT機器等導入支援補助 **継**

### 2 導入ノウハウを助言するアドバイザーの設置 **継**

大分県介護研修センターに設置し、各事業所にあった活用の提案を行う

#### ①業務の仕分け

事業所の業務をリスト化し、課題抽出

#### ②介護ロボット・ICTの活用

仕分け結果を基に、機器の導入支援

#### ③導入後のフォロー

導入効果検証や更なる効率化に向けた助言

### 3 現場革新に向けた管理者等への意識変革を促す動画研修等の実施 **新**

- ①職場環境の整備 ②現場とICTを理解できるデザイン思考を持ち合わせた人材育成
- ③管理者の意識改革 ④施設職員のICT等活用能力向上 ⑤業務の明確化・役割分担

## ビジョン

介護現場の業務効率化による利用者へのサービスの質の向上と介護職の負担軽減